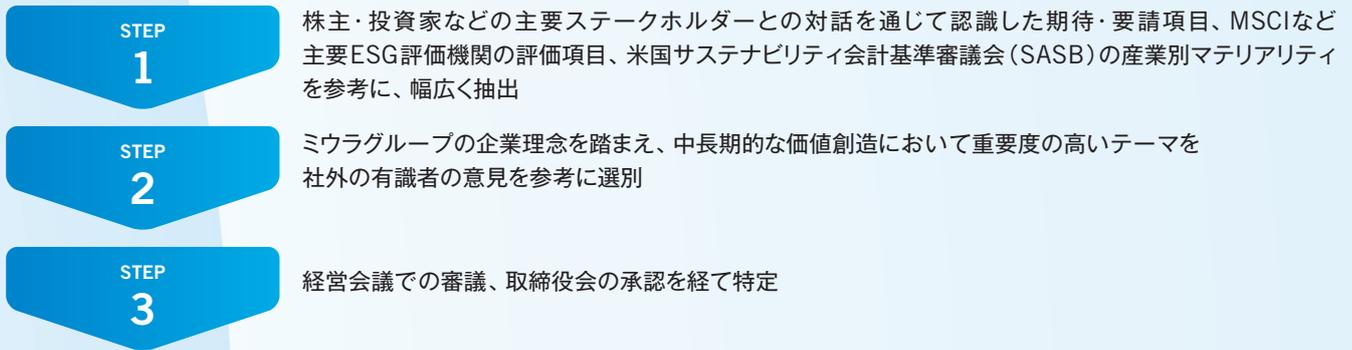


# マテリアリティ

ミウラグループでは、価値創造プロセスとその持続性に重要な影響を及ぼす課題を株主・投資家などの主要ステークホルダーの視点で抽出しています。マテリアリティ項目の取り組み強化により、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を目指します。

## マテリアリティ特定ステップ



## ミウラグループのマテリアリティ

E/S/G	項目	選定理由	具体的な取り組み	関連するSDGs
E 環境	① 環境負荷の低減 P.70	気候変動問題など自然資本への配慮および貢献は、当社およびステークホルダーの持続性への影響度が高い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品開発</li> <li>自社操業におけるエネルギーの有効利用</li> <li>廃棄物排出量削減と資源有効利用</li> <li>化学物質管理</li> </ul>	
S 社会	① 人財戦略・マネジメント P.59	メンテナンスを核とする当社ビジネスモデルおよびグローバルな拡大の戦略から、国内外において専門性・多様性のある人的資本の拡充が長期的な成長において重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人財育成</li> <li>多様な人財の活用</li> <li>職場環境の整備</li> <li>人権尊重</li> </ul>	
	② 労働安全衛生 P.64	製造会社として従業員の安全と健康の確保、取引業者の安全教育が、人的資本、社会・関係資本の拡充のうえで重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害防止</li> <li>安全衛生教育の実施</li> <li>健康経営の推進</li> </ul>	
	③ 製品・サービスの品質管理 P.66	顧客やビジネスパートナーの信頼に応える当社事業の強みを発揮するため、知的資本、社会・関係資本の維持・拡充の観点から、不断の品質管理が重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質向上会議、製品開発におけるリスクアセスメント</li> <li>製品不適合への迅速・適切な対応</li> </ul>	
	④ サプライチェーンマネジメント P.68	サプライチェーンでの社会的課題への協働取り組みの体制構築が、社会・関係資本、自然資本に良い影響を与える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達におけるBCP推進</li> <li>主要サプライヤーとの四位一体改革の推進</li> <li>グリーン調達(化学物質管理)の推進</li> </ul>	
G ガバナンス	① コーポレート・ガバナンス P.48	経営の基盤として、長期的な経済的価値創出と社会的価値創出の両立を目指すうえで、ガバナンスの高度化の継続は重要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価を活用したガバナンス体制の強化</li> <li>取締役会の実効性向上への取り組み</li> </ul>	
	② コンプライアンス P.54	関係法令などの法令遵守やリスク軽減の仕組み構築は、社会・関係資本の毀損を防止し、当社の持続性に直接的に影響を与える重要項目である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈収賄防止</li> <li>安全保障輸出管理</li> <li>知的財産の保護</li> </ul>	